

小地域単位統計の整備と利用に向けた課題

CSIS SYMPOSIUM 2007
「空間情報社会の到来：社会動向と空間統計学の普及」

佐藤 英人
(東京大学 空間情報科学研究センター)



本発表の内容

- CSIS所蔵の小地域単位統計
- 共同研究のしくみ
- データの利用状況
- 小地域単位統計の問題点
- 今後の課題—まとめにかえて



CSIS 東京大学 空間情報科学研究センター
Center for Spatial Information Science The University of Tokyo

小地域単位統計とは？

- 統計調査の集計単位が、町丁・大字単位、基本統計区単位もしくはメッシュ単位(1辺が500m以下)であるものを指す。
国勢調査、事務所・企業統計調査等
- 広義の小地域単位統計として、NTTタウンページの店舗別、業態別集計データ、およびゼンリン住宅地図の表札情報等が含まれる。

CSIS 東京大学 空間情報科学研究センター
Center for Spatial Information Science The University of Tokyo

なぜ小地域単位統計が必要なのか？

- 小地域単位統計は、詳細かつ精密な地域分析には必要不可欠な統計であるため。



- 個人情報保護法を順守しつつ、各種統計を公表する場合は、極力、小地域単位で公表するのが望ましい。

CSIS 東京大学 空間情報科学研究センター
Center for Spatial Information Science The University of Tokyo

CSIS所蔵の主な小地域単位統計

- 国勢調査(1970年～2000年)
- 事業所・企業統計調査(1981年～2001年)
- ゼンリン住宅地図(ZmapTownII)
(1998年版と2004年版)
- NTTタウンページ(南関東) データセット
(1990年、1995年、2000年)



CSIS 東京大学 空間情報科学研究センター
Center for Spatial Information Science The University of Tokyo



Home About CSIS
 ニュースイベント 機能紹介 記事・独立記録 目的 部門構成 所在地
 Research Activity
 メンバー プロジェクト 共同研究 シンポジウム 出版物 サービス リンク

English Contact Us Search

共同研究

CSISでは、全国の空間情報科学の研究を支援・推進するため、「研究用空間データ基盤」を構築し、利用していただくためにあります。

ただし、「研究用空間データ基盤」には、利用条件や著作権上自由に出すことができないデータや、研究目的のために企業・団体から買収されたデータを含まれております。そのため、まず共同研究(正式には「空間データ利用を伴う共同研究」)にお申し込みいただき、内容を審議した上で、利用許可を発行するという手続きを取らせていただいております。

共同研究にお申し込みになる場合には、「1. 共同研究のしくみ」をご覧ください。「2. 申請方法」に記載された手続きに従ってお申し込みください。

共同研究の利用許可を致した方は、「3. 共同研究員専用ページ」から、申請したデータを利用することができます。

1. 共同研究のしくみ
2. 申請方法
3. **利用可能なデータ一覧**
4. 共同研究一覧
5. 共同研究の成果公開
6. 共同研究員専用ページ

CSIS Home > 共同研究 > 共同研究のしくみ >

データセット一覧

データセットID 検索

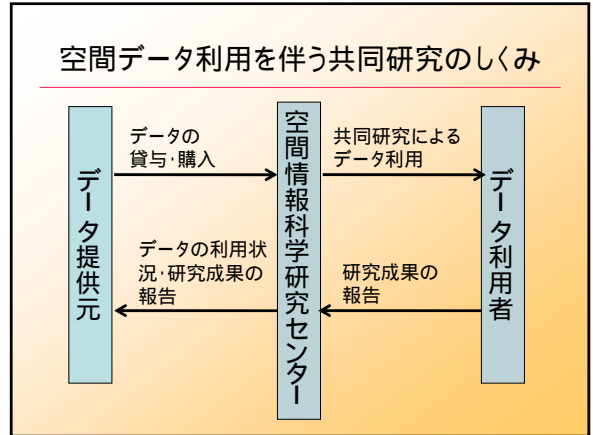
データセットID	データセット名称	提供機関
412000	国土地院5000(土地条件)(世界測地系・地理情報標準版)データセット	国土院
411000	国土地院5000(土地利用)(世界測地系・地理情報標準版)データセット	国土院
410000	国土地院5000(総合)日本とその周辺(世界測地系・地理情報標準版)データセット	国土院
400000	国土地院5000(行政界・海軍部)(世界測地系・地理情報標準版)2006年版	国土院
300000	国土地院5000(空間データ基盤)(世界測地系・地理情報標準版)データセット	国土院
200000	平成14年 全国消費実数調査 (CNC)形式 データセット	シフティ
100000	平成14年 全国消費実数調査 (CNC)形式 データセット	シフティ
050000	平成15年住宅と土地統計調査 (TA)形式 データセット	シフティ
404000	東京都心部標高データベース データセット	研究者による独自作成
403000	東京都地名データベース 昭和49年 データセット	研究者による独自作成
402000	東京都地名データベース 昭和49年 データセット	研究者による独自作成
401000	ZmapTown2 (shazo) 河津川 データセット	ゼンリン
400000	ZmapTown2 (shazo) 奥日光 データセット	ゼンリン
399000	ZmapTown2 (shazo) 富良野 データセット	ゼンリン
398000	ZmapTown2 (shazo) 天分湖 データセット	ゼンリン
397000	ZmapTown2 (shazo) 船本郷 データセット	ゼンリン
396000	ZmapTown2 (shazo) 長輪野 データセット	ゼンリン
395000	ZmapTown2 (shazo) 佐藤野 データセット	ゼンリン
394000	ZmapTown2 (shazo) 藤岡野 データセット	ゼンリン
393000	ZmapTown2 (shazo) 湯田野 データセット	ゼンリン
392000	ZmapTown2 (shazo) 菅原野 データセット	ゼンリン
391000	ZmapTown2 (shazo) 菅川野 データセット	ゼンリン
390000	ZmapTown2 (shazo) 徳島野 データセット	ゼンリン
389000	ZmapTown2 (shazo) 山口野 データセット	ゼンリン
388000	ZmapTown2 (shazo) 広島野 データセット	ゼンリン

小地域単位統計の利用に向けた取り組み

- 空間データ利用を伴う共同研究
 - 共同研究のしくみ
 - 申請方法
 - 利用可能なデータ一覧
 - 共同研究一覧
 - 共同研究の成果公開

詳細は下記URLをご参照ください。
<http://home.csis.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/JRdatalist.cgi>

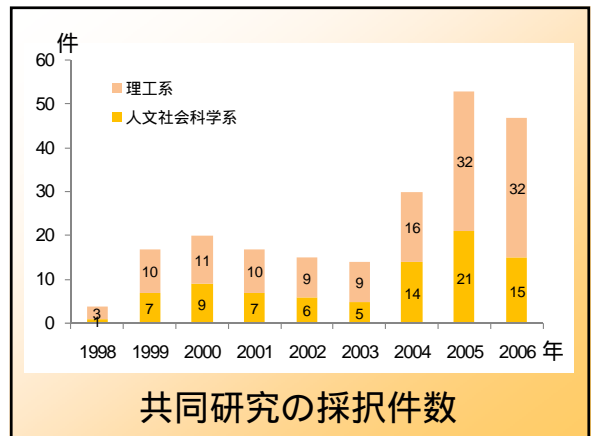
CSIS 東京大学 空間情報科学研究センター
 Center for Spatial Information Science The University of Tokyo

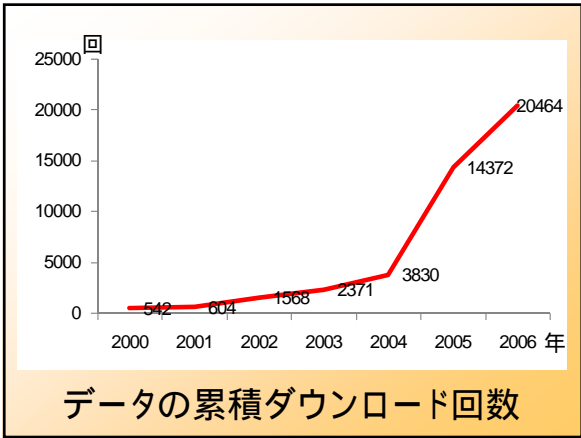
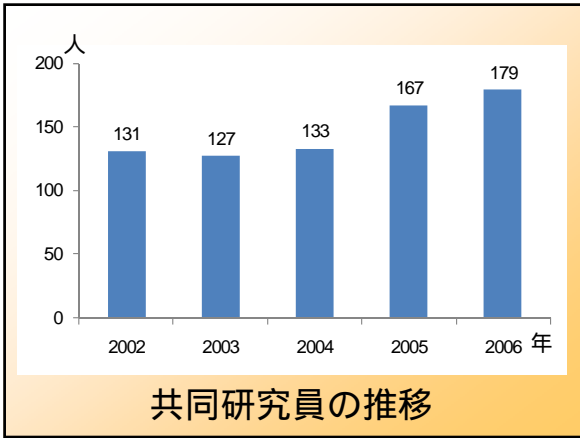


データの利用状況

- 共同研究の採択件数
- 共同研究員の推移
- データの累積ダウンロード回数

CSIS 東京大学 空間情報科学研究センター
 Center for Spatial Information Science The University of Tokyo





小地域単位統計の利用件数

年度	共同研究採択件数			小地域単位統計利用件数			利用率		
	人文社会	理工	総計	人文社会	理工	総計	人文社会	理工	総計
1998年	1	3	4	1	2	3	100.0%	66.7%	75.0%
1999年	7	10	17	6	8	14	85.7%	80.0%	82.4%
2000年	9	11	20	7	5	12	77.8%	45.5%	60.0%
2001年	7	10	17	6	4	10	85.7%	40.0%	58.8%
2002年	6	9	15	6	5	11	100.0%	55.6%	73.3%
2003年	5	9	14	5	5	10	100.0%	55.6%	71.4%
2004年	14	16	30	13	10	23	92.9%	62.5%	76.7%
2005年	21	32	53	18	20	38	85.7%	62.5%	71.7%
2006年	15	32	47	13	20	33	86.7%	62.5%	70.2%
総計	85	132	217	75	79	154	88.2%	59.8%	71.0%

小地域単位統計の問題点

- 調査方法の問題
 - 個人情報保護法の施行に伴う、調査精度低下
- 公表方法の問題
 - 電子媒体化されたデータは近年のものに限定
- 利用方法の問題
 - 個票データの利用

CSIS 東京大学 空間情報科学研究センター
Center for Spatial Information Science The University of Tokyo

主な統計調査の最小集計単位

	調査開始年次	調査間隔	最小集計単位 (電子媒体の提供年次)
国勢調査	1920年	10年ごとの本調査と 5年ごとの簡易調査	町丁・大字, 4次メッシュ (1995年～, 1970年～)
事業所・企業統計調査	1947年	1981年以降は5年ごとに本調査, 本調査の2年後に簡易調査	町丁・大字, 4次メッシュ (1991年～, 1986年～)
商業統計調査	1949年	1997年以降は5年ごとに本調査, 本調査の2年後に簡易調査	町丁・大字, 4次メッシュ (2002年～, 1979年～)
工業統計調査	1909年	毎年 (西暦末尾に「0, 3, 5, 8」 が付く年は本調査)	2次メッシュ (2003年～)
農林業センサス	1941年	1950年以降は5年ごと	農業集落単位 (1980年～)
漁業センサス	1949年	1963年以降は5年ごと	漁業集落単位 (1988年～)

(出所: 各種URLより発表者作成)



今後の課題—まとめにかえて

- 統計調査に対する協力と理解の醸成
- 小地域単位統計の遡及データの電子媒体化
- 小地域単位統計のワンストップサービス
- 個票データの利活用



CSIS 東京大学 空間情報科学研究センター
Center for Spatial Information Science The University of Tokyo

ご静聴ありがとうございました

- お問い合わせ先
 - 住所: 〒277-8568 千葉県柏市柏の葉5-1-5
総合研究棟421号室
 - 電話: 04-7136-4291
 - E-mail: hideto@csis.u-tokyo.ac.jp

CSIS 東京大学 空間情報科学研究センター
Center for Spatial Information Science The University of Tokyo